

# 環境に係る情報協議会

## 国営かんがい排水事業 風連多寄地区

### 1. 環境に対する考え方

#### 《農村環境の現状と課題》（各市「田園環境整備マスタープラン」より）

##### 【現状】

士別市 天塩岳をはじめとする緑の山々に囲まれ、天塩川本支流の豊富な水と肥沃な大地などの豊かな自然環境に恵まれている。

名寄市 市内を流れる河川と三日月湖やため池では多種にわたる魚類が生息し渡り鳥の飛来も見られる。また、市が策定した「緑のマスタープラン」に基づき、生活環境の保全、景観構成等の観点から緑の系統的な配置を進めている。

##### 【課題】

士別市 農業農村整備事業の実施にあたっては、動植物等の生息・生育環境への配慮などにより自然環境を守る必要がある。

名寄市 多様な生物の生息・生育する水辺を保全するとともに、豊かな自然と調和した水辺の創造と、市街地周辺に広がる農地の保全を推進する必要がある。

#### 《環境保全の基本的考え方》（各市「田園環境整備マスタープラン」より）

士別市 恵まれた自然という財産を保全し、将来にしっかりと継承していく水とみどりの里づくりを進める。

農業用排水路においては、地域の実情を踏まえ、自然生態系や緑豊かな田園景観に配慮した整備に努める。

名寄市 排水路では、緑豊かな自然の公益的な機能を活用する近自然型工法など自然にやさしい整備を推進する。

### 2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

#### 《基本方針》

##### ○ 調査位置の考え方

本地区の整備内容は、排水路の改修及び新設である。

水域の調査地点は、最も多くの種が確認されると考えられる排水路下流地点及び護岸が整備されておらず中下流域とは生息環境が異なると考えられる排水路上流地点とする。

陸域の調査地点は排水路に樹林が隣接する排水路中流域とする。

##### ○ 調査項目の考え方

既往調査結果を活用することを基本とする。ただし、本事業で想定している整備によって、生態・生育環境に直接影響を与えることが想定される魚類、底生動物及び植物並びに既往調査が行われていない水質について現地調査を実施する。

#### 《環境調査内容》

○調査項目 ①魚類 ②底生動物 ③植物 ④水質

○調査方法

魚	類	：	採捕調査、目視観察調査（目撃法）
底生動物	：	定性採集法	
植物	：	植物相調査	
水	質	：	SS、濁度